



# 補習校だより

平成25年度 第37号

平成26年2月8日発行

マイアミ補習校

校長 永井 晋

事務所 305-406-0050

校長携帯 917-521-5768

ホームページ [miamihoshuko.org](http://miamihoshuko.org)

E-mail [hoshuko@bellsouth.net](mailto:hoshuko@bellsouth.net)

## 節分

校長 永井 晋

先週、幼稚部で節分の豆まきを行いました。節分とは、読んで字のごとく、季節の分かれ目のことで、元々は「立春」「立夏」「立秋」「立冬」の前日を指していたそうです。節分が特に立春の前日を指すようになったのは、冬から春になる時期を1年の境目とし、その前日は大晦日と同じ意味合いを持つと考えられていたからだそうです。その大晦日に、お祓いや次の年の無病息災を願って始まったのが「豆まき」だそうです。悪いものの象徴である「鬼」（鬼門の鬼です）に豆（魔滅）をぶつけて、役を祓うという意味だそうです。

さすがに幼稚部ではそこまで教えませんが、お昼前に豆まきを行いました。行事担当の運営委員さんと私が青鬼と赤鬼の格好（ほとんどコスプレです）をし、金棒に見立てたプラスチック製のバットを持って、「ウォー」と子どもたちの前に出ていきました。まさか、「鬼」が出てくるとは思っていない子どもたちは「キャー」と驚いてくれました。去年はすぐに「あっ、校長先生だ！」と気が付き、思い切り「えいっ」と豆をぶつけてきましたが、今年は衣装に凝ってしまったので全く気付かれず、本気で怖がっていました。子供たちは豆まきのやり方を習っているのですが、恐る恐る豆をぶつけてきますが、豆をぶつけた後急いで逃げていく子供が多かったのが可愛かったです。しかし、最終的には鬼は幼稚部の豆にやられもう悪さをしないことを誓って「めでたし、めでたし」となりました。

先週も同じようなことを書きましたが、補習校では、ある意味、日本よりも日本的です。意図してそうしないと、日本ではないので日本の行事に触れることができない恐れがあるからです。しかし、年間42日間の授業日しかなく、学力と行事を天秤にかけることがしばしばあります。授業を確保しつつ、日本の伝統や文化も子どもたちに伝えていきたいと考えております。

